



日本財団「海と日本プロジェクト」推進パートナー活動

5歳児の園児たちと職員が海岸清掃を行いました！（第2回）

9月18日から9月26日に開催された『秋の海ごみゼロウィーク』に合わせて、海岸清掃を行いました。あすなろ保育園は出雲市大社町稲佐の浜で、あすなろ第2保育園は出雲市多伎町久村の浜にて活動しました。

今後とも、さまざまな形で社会貢献・地域貢献活動を実施したいと思います。

記

・日時、参加者、場所



令和3年9月15日（火）

あすなろ第2保育園 5歳児さくら組46名と職員

出雲市多伎町久村の浜

令和3年9月24日（金）

あすなろ保育園 5歳児さくら組49名と職員

出雲市大社町稲佐の浜



・趣旨

社会福祉法人あすなろ会は、日本財団「海と日本プロジェクト」推進パートナーとして活動しています。

「海と日本プロジェクト」とは、～海と人と人をつなぐ～

さまざまな形で日本の暮らしを支え、時に心の安らぎやワクワク、ひらめきを与えてくれる海。そんな海で進行している環境の悪化などの現状を、子どもたちをはじめ全国の人たちが「自分ごと」としてとらえ、海を未来へ引き継ぐアクションの輪を広げていくため、日本財団、総合海洋政策本部、国土交通省の旗振りのもと、オールジャパンで推進するプロジェクトです。



今回も、海と日本プロジェクトが推進する5つのアクションのうち「海をきれいにしよう！」に取り組みました。ゴミ拾いはひとりではなく、多くの人と一緒にすると、きれいになった砂浜を見て、達成感を分かち合えるばかりか、海との関わり方について、それぞれが考えるようになります。また、各施設の玄関に「海と日本プロジェクト」仕様の消毒液を設置しました。利用者の方や保護者の方にこのような活動があることを、消毒活動を通して広めています。



さらに、社会福祉法人あすなろ会は、社会福祉の更なる向上に寄与すべく社会福祉法人事業（保育・児童・介護・障がい等）・公共事業・地域貢献等の活動を実践するとともに、SDG s（持続可能な開発目標）の『17の目標』達成に向けて、今回も「14. うみの豊かさを守ろう」に取り組みました。海岸清掃を通して、海ゴミのゼロ化に貢献し、子どもたちが海をきれいにすることの大切さを心の中に刻むことが出来ました。そして、将来子どもたちが大人になったときに、みんなで海をきれいにした時の空のような、澄み切った気持ちを忘れずに次の世代へとアクションの輪を広げていくことを願っています。

